呉	工業高等	A) JT/IX	開講年度	令和03年度 (2		授業科目	デザイン基礎	
科目基础	 礎情報							
科目番号		0168			科目区分	専門/選		
授業形態 講義				単位の種別と単位	拉数 履修単位	履修单位: 1		
開設学科 建築学科				対象学年	3	3		
開設期前期				過時間数		2		
教科書/教						'		
担当教員		安 箱敏						
到達目	煙	1						
デザイン 基礎的な	における詳 能力を固め		長現は3DCADや3D(手描きパースや模型 CGが普及した現在に	製作などのデザインにおいても建築設計	ンの基本的な表現 者にとって重要が	を徹底して、次学年からの は能力であり、迅速な手描き	3DCAD
レーブ	リック							
			理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レヘ	 ジルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1			透視図による立できる	透視図による立体的な空間表現が できる		体的な空間図を理	解できない	
評価項目	2		模型製作による ができる			Z体的な空間図を	模型製作による立体的な ができない	空間表现
平価項目								
学科の	到達目標	項目との関	月孫					
学習・教	育到達度目	標 本科の学	習・教育目標 (HB)					
教育方法	 法等							
(1) 授業のi (2) 後半は (3) デザイ		インの歴史を学ぶこ は建築設計事務所での	前半は、デザインの基礎知識の習得を目標に講義型を中心とした授業形式で進める。 、家具や建築設計図を参考にデザイン演習形式で授業を行う。 ンの歴史を学ぶことで多様な文化について理解する。 建築設計事務所での実務経験を有する教員が,その経験を踏まえつつ講義する。					
授業の進め方・方法 (2) (3) ア (4)		(2) イン: (3) 作図(アパーフ	fインの基礎知識の習得を目標に、先ずはデザインの歴史について学ぶ。 √テリアパースの描き方および建築外観の透視図の理論を用い、実存する建築や家具の透視図の練習を行う。 個は従来図法と手描き透視図キットによる方法を併用しながら自分の設計した集合住宅やオフィスピルのインテスを描く。 「大を描く。」 「図・立面図から透視図を構築する方法において、プレゼンテーション技法を説明し、演習によってその技術を ・					
注意点		成績評价 評価割合	面の割合については 合」の「合計」1009	, この科目シラバス %のうち60%以上到	の最下部にある「訓達すれば合格となる	平価割合」の欄を る。	参照すること。この欄にあ	る「総合
注意点 授業の	属性・履	成績評価 評価割合 修上の区分	3] の「合計」1009	, この科目シラバス %のうち60%以上到	の最下部にある「i l達すれば合格となる	平価割合」の欄を る。	参照すること。この欄にあ	る「総合
授業の	属性・履f ティブラー:	評価割合 修上の区分	3] の「合計」1009	,この科目シラバス %のうち60%以上到	の最下部にある「記 記達すれば合格となる □ 遠隔授業対応	る。 	参照すること。この欄にあっ □ 実務経験のある教員に	
授業の		評価割合 修上の区分	合」の「合計」1009 }	, この科目シラバス %のうち60%以上到	達すれば合格となる	る。 		
受業の] アク:	ティブラーコ	評価割合 修上の区分	合」の「合計」1009 }	, この科目シラバス %のうち60%以上到	達すれば合格となる	る。 		
受業の] アク:	ティブラーコ	評価割合 修上の区分 ニング	合」の「合計」1009 }	,この科目シラバス %のうち60%以上到	」達すれば合格となる □ 遠隔授業対応	る。 	☑ 実務経験のある教員(
受業の] アク:	ティブラーコ	評価割合 修上の区分 こング 週	る」の「合計」100 [©] } □ ICT 利用 授業内容	%のうち60%以上到	」達すれば合格となる □ 遠隔授業対応	る。	□ 実務経験のある教員(る	こよる授
受業の] アク:	ティブラーコ	評価割音 修上の区分 ニング 週 1週	計』の「合計」1000	%のうち60%以上到 デザインとは何か	□ 遠隔授業対応	る。 週ごとの到達目村 「デザイン」とし	☑ 実務経験のある教員に 票 いう概念について理解できる	こよる授
受業の] アク:	ティブラーコ	評価割合 修上の区分 こング 週 1週 2週	計』の「合計」1000 計 □ ICT 利用 授業内容 授業ガイダンス、 1945年~1960年	%のうち60%以上至 デザインとは何か のデザイン(アメリ	□ 遠隔授業対応	る。 : 週ごとの到達目相 「デザイン」と 「デザイン」の!!	☑ 実務経験のある教員に票いう概念について理解できる歴史について理解できる	こよる授
受業の] アク:	ティブラーコ	評価割合 修上の区分 こング 週 1週 2週 3週	計」1000 計】1000 計】1000 計】1000 日本 ICT 利用 授業内容 授業ガイダンス、 1945年~1960年 1945年~1960年	※のうち60%以上至 デザインとは何か のデザイン(アメリ のデザイン(イタリ	Jカ) Jア・ドイツ) ①	る。 週ごとの到達目相 「デザイン」とい 「デザイン」の原 「デザイン」の	② 実務経験のある教員に 票 いう概念について理解できる 歴史について理解できる 歴史について理解できる	こよる授
受業の] アク:	ティブラー:	評価割合 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週	計 □ ICT 利用 授業内容 授業ガイダンス、 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1960年	※のうち60%以上至 デザインとは何か のデザイン(アメリ のデザイン(イタリ のデザイン(イタリ	Jカ) Jア・ドイツ) ① Jア・ドイツ) ②	る。 過ごとの到達目村 「デザイン」とい 「デザイン」の原 「デザイン」の原	図 実務経験のある教員に要いう概念について理解できる歴史について理解できる歴史について理解できる歴史について理解できる歴史について理解できる	こよる授
受業の] アク:	ティブラーコ	評価割合 修上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週	計 □ ICT 利用 授業内容 授業ガイダンス。 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1960年	デザインとは何か のデザイン(アメリ のデザイン(イタリ のデザイン(イタリ のデザイン(スカン	Jカ) Jア・ドイツ) ① Jア・ドイツ) ②	過ごとの到達目相 「デザイン」とい 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原	図 実務経験のある教員に要素があるできるを使について理解できるを使います。 できる できまい できる できまい できる できまい できる できまい できる できまる できる できる できる できる できる できる できる できる できる でき	こよる授
授業の □ アク:	ティブラー:	評価割合 	受業内容 授業内容 授業ガイダンス、 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1968年	デザインとは何か のデザイン(アメリ のデザイン(イタリ のデザイン(イタリ のデザイン(スカン のデザイン①	Jカ) Jア・ドイツ) ① Jア・ドイツ) ②	週ごとの到達目村 「デザイン」とい 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原	□ 実務経験のある教員に要素があるできるである。 歴史について理解できるである。 歴史について理解できるである。 歴史について理解できるである。 歴史について理解できるである。 歴史について理解できる 歴史について理解できる 歴史について理解できる 歴史について理解できる	こよる授
授業の □ アク:	ティブラー:	評価割合 修上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週	受業内容 授業内容 授業ガイダンス、 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1968年 1954年~1968年 1954年~1968年	デザインとは何か のデザイン(アメリ のデザイン(イタリ のデザイン(イタリ のデザイン(スカン のデザイン①	J達すれば合格となる 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	過ごとの到達目相 「デザイン」とい 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原	図 実務経験のある教員に要素があるできるを使について理解できるを使います。 できる できまい できる できまい できる できまい できる できまい できる できまる できる できる できる できる できる できる できる できる できる でき	こよる授
受業の] アク:	ティブラー:	評価割合 P の区分 コング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	計 対 対 対 対 対 対 対 が が が が が が が が が が が が が	デザインとは何か のデザイン(アメリ のデザイン(イタリ のデザイン(イタリ のデザイン(スカン のデザイン① のデザイン②	達すれば合格となる □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ ファ・ドイツ ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	過ごとの到達目相 「デザイン」とい 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原	図 実務経験のある教員に要いう概念について理解できる歴史について理解できる歴史について理解できる歴史について理解できる歴史について理解できる歴史について理解できる歴史について理解できる歴史について理解できる歴史について理解できる	こよる授
受業の <u>に</u>	ティブラー:	評価割合 下の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	受業内容 授業内容 授業力イダンス、 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1968年 1954年~1968年 1954年~1968年 有名建築家の建築 の理論 有名建築家の建築 実践(アイソメ図	デザインとは何か のデザイン(アメリ のデザイン(イタリ のデザイン(スカン のデザイン① のデザイン② ・家具作品の事例紹	J達すれば合格となる	過ごとの到達目相 「デザイン」とい 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」のアクソメ図とアクリス図とアクリス図とアク	図 実務経験のある教員に要素があるできる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 をといって理解できる。 をといって理解できる。 をといって理解できる。 をといって理解できる。	こよる授
受業の <u>に</u>	ティブラー:	下の区分 下の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	受業内容 授業内容 授業内容 授業ガイダンス、 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1968年 1954年~1968年 1954年~1968年 有名建築家の建築 の理論 有名建築家の建築 実践(アイソメ図 1点透視図による記 透視図による記 透視図による3 透視図による3 透視図による3 透視図による3 透視図による3	ボースの演習(集合 デザインとは何か のデザイン(アメリク のデザイン(イタリクリングをはない。 のデザイン① のデザイン② ・家具作品の事例に ・家具作品の事例に ・家具作品の事例に ・家はびアクソメ図)を を内パースおよび2点 を内パースの演習(集合	J達すれば合格となる □ 遠隔授業対応 Jカ) Jア・ドイツ) ① Jア・ドイツ) ② -ジナビア) G介および作図法 G介および作図の 点透視図による外 建築家作品) 2点 合住宅) ①	る。 過ごとの到達目相 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の別 「デザイン」の別 「デザイン」の別 「がけるとこ点 1点透視図と2点 ができる	図 実務経験のある教員に要いう概念について理解できる歴史について理解できる歴史について理解できる歴史について理解できる歴史について理解できる歴史について理解できる歴史について理解できる歴史について理解できる歴史について理解できる歴史について理解できる。 透視図について理解できる 透視図について理解できる 透視図を正確に描ける 透視図の作図を通して空間権	こよる授
受業の <u>に</u>	ティブラー: 画 1stQ	下の区分 下の区分 二次	計画の「合計」1000分 計画の「合計」1000分 対策内容 授業内容 授業ガイダンス、 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1968年 1954年~1968年 1954年~1968年 有名建築家の建築 東護(アイソメ図 1点透視図による 透視図に 上述	がのうち60%以上至 デザインとは何か のデザイン(イタリ のデザイン(イタリ のデザイン① のデザイン① のデザイン② ・家具作品の事例紹 ・家具作品の事例紹 ・家はびアクメメ図) 室内パースおよび2点 室内パースの演習(集合 を対しているのででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	達すれば合格となる □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	る。 過ごとの到達目村「デザイン」の原「デザイン」の原「デザイン」の原「デザイン」の原「デザイン」の原「デザイン」の原「デザイン」の原「デザイン」の原「デザイン」の原フクソメ図とアー1点透視図と2点1点透視図と2点ができる	図 実務経験のある教員に また。 おう概念について理解できる を史について理解できる を史について理解できる を史について理解できる を史について理解できる を史について理解できる を史について理解できる を史について理解できる を史について理解できる を史について理解できる を対図について理解できる 透視図について理解できる 透視図の作図を通して空間構 透視図の作図を通して空間構	こよる授
受業の 〕 アクラ 受業計	ティブラー:	下の区分 下の区分 上の区分 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	計画の「合計」1000分 計画の「合計」1000分 対理業内容 授業ガイダンス、 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1968年 1954年~1968年 有名建築家の建築 有名建築家の建築 東護(アイソメ図 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観	がのうち60%以上至 デザインとは何か のデザイン(イタリ のデザイン(スカン のデザイン① のデザイン② ・家具作品の事例紀 ・家具作品の事例紀 ・家具作品の事例紹 ・家はでクリメ図 を内パースある習(第一名 をパースの演習(第一名 をパースの演習(第一名 をパースの演習(第一名 をパースの演習(第一名 をパースの演習(第一名 をパースのある習(第一名 をパースの演習(第一名 をパースの演習(第一名 をパースの演習(第一名 をパースの演習(第一名 をパースの演習(第一名 ・スの演習(第一名 ・スの演習(第一名	Jカ) Jア・ドイツ)① Jア・ドイツ)② Jア・ビア・ビア)② Jア・ビア)	る。 週ごとの到達目村 「デザイン」の「デザイン」の「デザイン」の「デザイン」の「「デザイン」の「「デザイン」の「「デザイン」の「「デザイン」の「「デザイン」の「「デザイン」の「「がけイン」の「「デザイン」の「「がけイン」の「「がけん」の「できる別図と2点ができる」に透視図と2点ができるしたできる。	図 実務経験のある教員に また。 これのは、これで理解できる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 を使について理解できる。 を使について理解できる。 を使について理解できる。 を使について理解できる。 を使について理解できる。 を使について理解できる。 を使について理解できる。 を表現図について理解できる。 を表現図を正確に描ける。 を表現図の作図を通して空間構 を表現図の作図を通して空間構 を表現図の作図を通して空間構	こよる授
授業の	ティブラー: 画 1stQ	下の区分 下の区分 上の区分 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	計画の「合計」1000分 計画の「合計」1000分 対理業内容 授業ガイダンス、 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1968年 1954年~1968年 1954年~1968年 有名建築家の建築 有名建築家の建築 東護(アイソメ図 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観	がのうち60%以上至 デザインとは何か のデザイン(イタリ のデザイン(イタリ のデザイン(スカン のデザイン① のデザイン② ・家具作品の事例紀 ・家具作品クメメ図 室内パスのス演習(第一名 を内パスのス演の習(第一条) 空パースのの選(第一条) でパースのののででである。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	Jカ) Jア・ドイツ)① Jア・ドイツ)② Jア・ビア)② Jア・ビア)	る。 週ごとの到達目村 「デザイン」の「デザイン」の「デザイン」の「デザイン」の「「デザイン」の「「デザイン」の「「デザイン」の「「デザイン」の「「デザイン」の「「デザイン」の「「がけイン」の「「デザイン」の「「がけイン」の「「がけん」の「できる別図と2点ができる」に透視図と2点ができるしたできる。	図 実務経験のある教員に また。 おう概念について理解できる を史について理解できる を史について理解できる を史について理解できる を史について理解できる を史について理解できる を史について理解できる を史について理解できる を史について理解できる を史について理解できる を対図について理解できる 透視図について理解できる 透視図の作図を通して空間構 透視図の作図を通して空間構	こよる授
受業の <u>に</u>	ティブラー: 画 1stQ	下の区分 上の区分 1週 1週 1週 1週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	計画の「合計」1000分 計画の「合計」1000分 計画の「合計」1000分 一部のでは、1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1968年 1954年~1968年 1954年~1968年 有名建築家の建築の理論 有名建築家の建築の理論 有名建築家の建築の理論 有名建築家の建築の理論 1点透視図による記述表別に表述表別による記述表別による記述表別による記述表別による記述表別に表述表別に表述表述表述表別に表述表述表述表述表述表述表述表述表述表述表述	がのうち60%以上至 デザインとは何か のデザイン(イタリ のデザイン(スカン のデザイン① のデザイン② ・家具作品の事例紀 ・家具作品の事例紀 ・家具作品の事例紹 ・家はでクリメ図 を内パースある習(第一名 をパースの演習(第一名 をパースの演習(第一名 をパースの演習(第一名 をパースの演習(第一名 をパースの演習(第一名 をパースのある習(第一名 をパースの演習(第一名 をパースの演習(第一名 をパースの演習(第一名 をパースの演習(第一名 をパースの演習(第一名 ・スの演習(第一名 ・スの演習(第一名	J達すれば合格となる □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 以ア・ドイツ)① □ア・ドイツ)② □ジナビア) □ はてア) □ は、	る。 週ごとの到達目相 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 アクソメ図とアー 1点透視図と2点 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる	図 実務経験のある教員に また。 これのは、これで理解できる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 を史について理解できる。 を使について理解できる。 を使について理解できる。 を使について理解できる。 を使について理解できる。 を使について理解できる。 を使について理解できる。 を使について理解できる。 を表現図について理解できる。 を表現図を正確に描ける。 を表現図の作図を通して空間構 を表現図の作図を通して空間構 を表現図の作図を通して空間構	こよる授
受業の[アクラー 受業計]	声ィブラー: 画 1stQ 2ndQ	下の区分 1週 1週 3週 4週 3週 4週 3週 4週 3週 4週 3週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 15週 15週	計画の「合計」1000分 計画の「合計」1000分 計画の「合計」1000分 対理業内容 授業ガイダンス、 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1968年 1954年~1968年 1954年~1968年 有名建築家の建築 有名建築家の建築 有名建築家の建築 有名建築家の建築 前点透視図による外 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 2点透視図においい方	がのうち60%以上至 デザインとは何か のデザイン(イタリ のデザイン(イタリ のデザイン(1 のデザイン(1 のデザイン(2 ・家具作品の事例。 ・家具作品の事例。 を内パスパースの選(1 を内パースのので選(1 をパースののででである。 を内パースののででである。 を内パースののででである。 を内パースののででは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、こ	J達すれば合格となる □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 以ア・ドイツ)① □ア・ドイツ)② □ジナビア) □ はてア) □ は、	る。 週ごとの到達目相 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 アクソメ図とアー 1点透視図と2点 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる	図 実務経験のある教員に 要いう概念について理解できる 歴史について理解できる 透視図について理解できる 透視図ののででは 透視図の作図を通して空間構 透視図の作図を通して空間構 透視図の作図を通して空間構	こよる授
受業の[アクラー 受業計]	声ィブラー: 画 1stQ 2ndQ	下の区分 1週 1週 3週 4週 3週 4週 3週 4週 3週 4週 3週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 15週 15週	計画の「合計」1000分 計画の「合計」1000分 計画の「合計」1000分 一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、	がのうち60%以上至 デザインとは何か のデザイン(イタリ のデザイン(イタリ のデザイン(1 のデザイン(1 のデザイン(2 ・家具作品の事例。 ・家具作品の事例。 を内パスパースの選(1 を内パースのので選(1 をパースののででである。 を内パースののででである。 を内パースののででである。 を内パースののででは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、こ	J達すれば合格となる □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 以ア・ドイツ)① □ア・ドイツ)② □ジナビア) □ はてア) □ は、	る。 週ごとの到達目相 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 アクソメ図とアー 1点透視図と2点 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる	図 実務経験のある教員に 要いう概念について理解できる 歴史について理解できる 透視図について理解できる 透視図ののででは 透視図の作図を通して空間構 透視図の作図を通して空間構 透視図の作図を通して空間構	こよる授
受業の	声ィブラー: 画 1stQ 2ndQ	下の区分 1週 1週 3週 4週 3週 4週 3週 4週 3週 4週 3週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 15週 15週	計画の「合計」1000分 計画の「合計」1000分 計画の「合計」1000分 対理業内容 授業ガイダンス、 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1960年 1945年~1968年 1954年~1968年 1954年~1968年 有名建築家の建築 有名建築家の建築 有名建築家の建築 有名建築家の建築 前点透視図による外 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 1点透視図による外観 2点透視図においい方	がのうち60%以上至 デザインとは何か のデザイン(イタリ のデザイン(イタリ のデザイン(1 のデザイン(1 のデザイン(2 ・家具作品の事例。 ・家具作品の事例。 を内パスパースの選(1 を内パースのので選(1 をパースののででである。 を内パースののででである。 を内パースののででである。 を内パースののででは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、こ	J達すれば合格となる □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 Jア・ドイツ) ① Jア・ドイツ) ② ブア・ドイツ) ② ブア・ドイツ) ② ブア・ドイツ) ② ブア・ドイツ) ② ブア・ドイツ) ② ブア・ドイツ) ② ブア・ドイツ) ② 「はアーツ (本の) 2点 は宅) ② (集合住宅) ② オフィスビル) 建き 透視図の使い分	る。 週ごとの到達目相 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 アクソメ図とアー 1点透視図と2点 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる	図 実務経験のある教員に 要 いう概念について理解できる 歴史について理解できる のかりと通して空間を 透視図の作図を通して空間を 透視図の作図を通して空間を 透視図の作図を通して空間を 透視図の作図を通して空間を 透視図の作図を通して空間を 透視図の作図を通して空間を 透視図の作図を通して空間を	こよる授
受業の アクラ 受業計 ゴガ	画 IstQ 2ndQ	下の区分 1回 1回 1回 1回 1回 1回 1回 1回	計 の 「合計」 1000 計 の 「合計」 1000 計 の 「合計」 1000 計 の 「合計」 1000	がのうち60%以上至 デザインとは何か のデザイン(イタリ のデザイン)(イタリ のデザイン) のデザイン② ・家具でイン② ・家具でアスコの。 を内パースの。 をのう。 を内パースの。 をのう。 を内パースの。 をのう。 を内パースの。 をのう。 を内パースの。 をのう。 を内パースの。 をのう。 を内パースの。 をのう。 をのる。 をのう。 をのる。 をのる。 をのる。 をの。 をの。 をの。 をの。 をの。 をの。 をの。 をの	J達すれば合格となる □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 Jア・ドイツ) ① Jア・ドイツ) ② ブア・ドイツ) ② ブア・ドイツ) ② ブア・ドイツ) ② ブア・ドイツ) ② ブア・ドイツ) ② ブア・ドイツ) ② ブア・ドイツ) ② 「はアーツ (本の) 2点 は宅) ② (集合住宅) ② オフィスビル) 建き 透視図の使い分	る。 週ごとの到達目相 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 アクソメ図とアー 1点透視図と2点 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる	図 実務経験のある教員に 要 いう概念について理解できる 歴史について理解できる のかりと通して空間を 透視図の作図を通して空間を 透視図の作図を通して空間を 透視図の作図を通して空間を 透視図の作図を通して空間を 透視図の作図を通して空間を 透視図の作図を通して空間を 透視図の作図を通して空間を	こよる授
受業の[アクラー 受業計]	画 IstQ 2ndQ	下の区分 1回 1回 1回 1回 1回 1回 1回 1回	計画 (100cm) □ ICT 利用 □ ICT N □ I	がのうち60%以上至 デザインとは何か のデザイン(イタリ のデザイン)(イタリ のデザイン) のデザイン② ・家具でイン② ・家具でアスコの。 を内パースの。 をのう。 を内パースの。 をのう。 を内パースの。 をのう。 を内パースの。 をのう。 を内パースの。 をのう。 を内パースの。 をのう。 を内パースの。 をのう。 をのる。 をのう。 をのる。 をのる。 をのる。 をの。 をの。 をの。 をの。 をの。 をの。 をの。 をの	J達すれば合格となる □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 Jア・ドイツ) ① Jア・ドイツ) ② ブア・ドイツ) ② ブア・ドイツ) ② ブア・ドイツ) ② ブア・ドイツ) ② ブア・ドイツ) ② ブア・ドイツ) ② ブア・ドイツ) ② 「はアーツ (本の) 2点 は宅) ② (集合住宅) ② オフィスビル) 建き 透視図の使い分	る。 週ごとの到達目相 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 「デザイン」の原 アクソメ図とアー 1点透視図と2点 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる 1点透視図と2点 ができる	図 実務経験のある教員に 要 いう概念について理解できる 歴史について理解できる のかりと通して空間を 透視図の作図を通して空間を 透視図の作図を通して空間を 透視図の作図を通して空間を 透視図の作図を通して空間を 透視図の作図を通して空間を 透視図の作図を通して空間を 透視図の作図を通して空間を	こよる授

基礎的能力	20	0	10	10	40
専門的能力	0	30	30	0	60
	0	0	0	0	0